

〔プロピリスルフロン・プロモブチド水和剤〕

農林水産省登録 第23152号

性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：5 年

包 装：500 ml×20 本、2 ℓ×6 本

ゼータファイヤ®フロアブル

有効成分：プロピリスルフロン……………1.7% プロモブチド……………16.8%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報をご覧になります。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用雑草名	使用時期*	10アール 当り使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ エゾノサヤヌカグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、移植後 30日まで	500 ml	本 剤：1回 プロピリスルフロン：2回 プロモブチド：2回	原液湛水散布 又は 水口施用
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、収穫 90日前まで			原液湛水散布

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用前に容器を軽く振る。
- 主要雑草に対する散布適期幅

ホタルイ	3葉期まで	エゾノサヤヌカグサ	発生始期まで
ウリカワ	3葉期まで	オモダカ	発生始期まで
ヘラオモダカ	3葉期まで	クログワイ	発生始期まで
ミズガヤツリ	3葉期まで	コウキヤガラ	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで	シズイ	草丈3cmまで
セリ	再生前から再生始期まで	アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前まで

○本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにする。

- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）で、まきむらが生じないよう

に均一に散布する。また、極端な浅水や深水での使用はさける。

- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。また、入水は静かにおこなう。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいにおこなう。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなう。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水と共に水田全面に拡散させる。処理後田面水が通常の湛水状態（湛水深3～5cm）に達したときに必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意する。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では葉害を生じるおそれがあるので注意する。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさける。
 - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田（減水深が2cm/日以上）。
 - 軟弱な苗を移植した水田。
 - 極端な浅植えの水田。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。
- 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものでは十分な効果を示さない場合がありますので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しない。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管する。

〔品目特性〕

- プロピリスルフロに、ホタルイヤコナギに対し高い効果を示すプロモブチドを混合した有効成分が2成分の初・中期一発処理除草剤です。
- ノビエをはじめとする一年生雑草、及び多年生雑草・SU抵抗性雑草まで、さまざまな雑草に対して高い除草効果を示します。
- ゼータファイヤは1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボの3剤型が揃っており、使用者のニーズに合わせてご使用いただけます。